

教職員からのメッセージ

機械工学系 小林正和

豊橋には路面電車が走っています。R11mで90度曲がる日本一の急カーブがあることで知られ、休日ともなると、鉄道マニアの方がそのカーブのアウトサイドで大きなカメラを構え、豪快に車両が曲がる姿を写真に収めています。私は家から出張に出かける際、毎度、その路面電車にお世話になっています。電車は、沿線に住む多くの方の通勤の足として、時間帯にもよりますが7分から15分間隔ぐらいで割とマメに走っています。今よりも若い頃は、駅で5分でも待っているのがなんとなく嫌で、駅での待ち時間がないようにギリギリを狙って家を出ていたのですが、最近、年を取ったせいか、厳しい寒暖なれば、15分や20分の待ち時間なんとも思わなくなりました。きっと、ぼーっとしているのでしょうね。そして、若い時は、ふんだんであるように感じられた時間が、年々、短く、月日が過ぎるのが早く感じるようになっていきます。あつという間に1年が過ぎていきます。忙しいためか、それともぼーっとしているためか……。子供の頃のように常に何か新しい情報に接していると、時間が長く感じられるそうですが、年々、集中力が減退していることも年月が早く過ぎるように思う理由の一つかも知れません。今、授業開始が遅れて過ごすこの期間も、若い学生の皆さんと、時間経過の感じ方が違うかも知れませんね。実は、若いころと異なる感覚は、時間の流れだけではないようです。重ねた時間が違えば、違うことを思うもんだと、近頃、何かと思いはじめました。皆さん、両親やこれまでお世話になった先生に遊んでばかりでなく、勉強しなさいとしばしば言われたと思うのですが、最近、思ってみたことは、人生の先輩方はただ単に後悔があって、そのように言うのではないかと。別に、若い方相手に、偉ぶって何かの教えを説きたくて言っている訳じゃない。私も学生時代に勉強しなさいと言われて、良い思いはしません(むしろ、嫌)でした。義務教育は別として、「勉強しないといけない」って別に、法律でも何でも、決まっているわけではないですよ？最近、年取った自分がどんな思いでそんなことを言うのかとよくよく考えると、ただ単に、勉強してたことが何かの助けや得になった人を見た、あるいは、勉強していないことで損をしたというような、個人的な経験から言っているのではないかと。(実は、どこそこのラーメン屋がうまかったと違わないレベルで言っているかも。)先生と言えども、何か信念があって言っているのではなく(信念をもっておっしゃっている先生もいらっしゃるかも知れませんが)、自分の後悔に基づいて、忠告として言っているような……。ただ、その個人的な経験は、それぞれの人のものですから、数多くの方がそう言う(そのような経験をした)のは、理系的な視点で言えば、それ相応に正しいことなのかも知れない(信頼性の高い情報なのかも知れない)かも知れません。だから、勉強しなさいと言う気は更々ないのですけど、後悔している大人(私も含めて)がたくさんいるみたいなので、現在、外出制限で不便な時期ではありますが、この後始まるであろう大学生活までを含めて、皆さん、勉強するもよし、何かにチャレンジや没頭するもよし、後悔しないように過ごして欲しいと思います。年齢を経てできるようになったことも多いのですが、若い時期の経験は貴重だなあとしみじみ感じているのです。それが残念なのか、良かったのか……。不明ですけど……。